

瓦版

桑名七盤勝負
プロジェクト
機関紙第3号

2020年春発行

発行元
桑名七盤勝負協会
桑名囲碁将棋サロン庵

発行責任者
大川英輝



桑名囲碁将棋サロン庵
ホームページはこちら



桑名七盤勝負はおかげさまで3周年を迎えました！
過去の世界大会 閉会式後の写真です（第1回から第6回）



（七盤クイズ）第1回から第6回までの桑名七盤勝負世界大会の集合写真です。どの写真が何回目か全部当てられますか？

桑名七盤勝負3周年に向けて
たくさんの寄稿をいただきました！

きりがいいほどの思い出
仙台支部長 和田信也

はじめて七盤に参加してから丸2年が経過しました。

神戸市のオセロ名人戦で大川代表に出会ったこと、初参加の郡山大会で優勝し素敵な賞品をいただいたこと、世界大会への参加のため、何度も桑名を訪れるようになったこと、第6回世界大会で盟友ホームズを降して初優勝したこと、各団体に協力いただきながら第1回仙台大会を無事開催できたこと、そして先日の第7回世界大会で、いきなり完封負けを喫したことなど、印象に残ることを数えればきりがありません。

今後無理のない範囲で、桑名七盤勝負に関わっていければと思います。

人との交流が面白い

大阪支部 Yukina-Gi

わたしが桑名七盤勝負に最初に触れたのは2年ほど前の2018年3月末。偶然の連鎖だった。体験をさせてもらったが、そのときは手を出そうとは思わなかった。というのは、面白そうで間違いなくハマるのかもしれない、と思ったからだ。しかし、魅力には勝てず間もなく少しづつ手を出し始めた。1ヶ月後には、全種目の道具と必要な入門書がそろった。もう止まらない。過去にやっていたものを思い出して初めてのものを用意して、すべてを水準以上にしようと意気込んでいた。・・・が、これは続かなかった。負担が大きすぎた。それで今はやって面白く感じる水準で満足するようにしている。なにより人との交流が面白い。これからの、おそらくは体力が続く間は続けるだろう。

親子で対戦

神奈川支部 なかむらけいこ
桑名七盤勝負三周年おめでとうございます。

2015年に行われるであろう第7回桑名七盤勝負世界大会に出場し、息子と対戦するつもりでいますので、桑名七盤勝負の継続とますますの発展を祈っています。

懐かしく思います

愛知支部長 井上尊監

今回は、今まで7回行われた世界大会すべてで協賛品を出してきた立場から、どんな気持ちで協賛品を選んでいるかということを書いてみました。

私は特定の競技の賞品を出す、それ以外の人がもらった際にあまり嬉しくないのかなと思ひ、選択したことはほとんどありません。自分の中でその回のテーマを決めて、それに沿って選ぶようにしています。とにかく少しでも、多くの人がもらって、良かったと思えるような賞品を選択するように心がけています。

これからの少しづつ協賛品を提供していけたらいいなあと考えています。

桑名七盤勝負が始まって3年が経過するんですね。七盤の初期の頃から参加していた者として懐かしく思います。あの頃はまだまだ今の形になっておらず、同時に対局して相手選手を追いかけ、よく対局スタイルでした。始まった当時は、順番もいろいろ試行錯誤していました。規定なども代表にいろいろ意見を言いながら徐々に形ができていきました。やがて審判の負担が大きい等の理由で今のお互いの着手をお互いで確認する形式に変更されましたが、こうして思い起こす様々なことが懐かしく思えます。これからも、桑名七盤勝負が続いていくことを強く望みます。

第7回桑名七盤勝負世界大会2日間開催 見事両日制覇で完全優勝！

芝野龍之介選手独占インタビュー

こんにちは。
芝野龍之介です。

このたびの世界大会では運よく二日連続で優勝することができました。私は七盤を勝負事として捉えています。それは勝たなければならない残酷な世界ですが、負けたくないから日ごろから努力をし、結果も伴ったと思います。1%の確率を2%に、そしてもっと高い確率に上げて運の要素をなるべく少なくするものが努力だと考えています。

結局は運が良くないと結果は残せませんが、努力をしていないと運が良くても結果を残せません。

私は「自分の成長」をモチベーションに、鍛錬に取り組んでいます。新しい技を知り、今までできなかったことができるようになり、より高いレベルでの勝負ができるようになることも嬉しそうです。

また、自分より強い相手と対戦している時は楽しいです。

自分の何が足りないのか、どうすれば勝てるのか、そしてこの壁を乗り越えた先には何が見えるのかと考えるとわくわくします。

七盤ではなんらかの種目で、必ずと言っていいほど強い人との対戦が実現できるので、それは大きな魅力の一つです。私と対戦してくださった方々には非常に感謝しています。これからも、自身が七盤をもっと楽しんでいけるように強くなります。他の方を楽しませられる存在であり続けるためにも、努力してまいります。今後ともよろしくお願いいたします。



2日連続総合優勝という前人未到の快挙を見事達成



閉会式後の記念撮影「お疲れ様でした桑名七盤勝負」



2日目決勝は京都の粟辻選手と対決 周囲も見守る

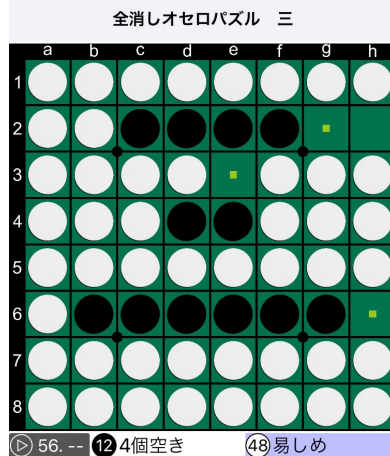
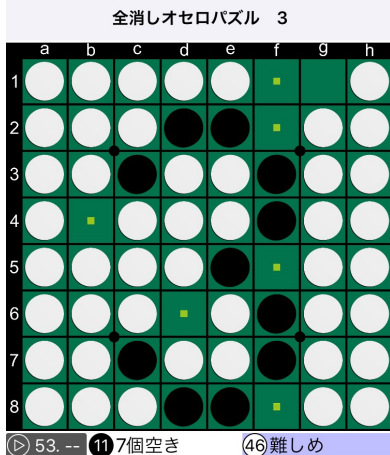
桑名七盤勝負の魅力とは

桑名本部幹事長 クランコ

一度手を出せば誰もが皆その魅力に惹かれる「桑名七盤勝負」の魅力ってなんだろうか？改めて考えてみました。

- ①異なる競技間の交流。単一競技の選手だったなら一生関わるのが無かったであろう強豪や、他競技の方と対等の立場で向き合えるのは幸せな事だと思います。
 - ②楽しみ方は自分次第自分のペースで関われるのも大きな魅力です。頂点を目指してガチで鍛え上げるもよし、仲間を求め共通言語感覚で覚えて楽しむのもよし。単に選手の応援をしたいというのもアリ。
 - ③最高の仲間ができるこれこそ最大の魅力でしょう。桑名七盤勝負に関わっておられる方々の人柄の良さ。分らない事が有れば皆さん優しく根気良く教えて下さいますし、その技術も惜しみなく出してくれます。雲の上と思っていたあの方とも一度盤を挟んで会話すれば打ち解けられることでしょう。
 - ④選手ファースト運営側は選手にスポットを当てて、常に選手の都合を第一に考えてくれます。私の場合、一身上の都合でSNSへの露出はお断りしますが、こちらの承諾無しでアップされる事は一切ありません。
 - ⑤棋力に関係なく楽しめる上位勢は「凄い！」とは言われます。確かに「勝負」と名が付く以上そこにスポットは当たる機会が多いものの、そこが中心ではありません。棋力が低いからといって馬鹿にされたり、軽く扱われる事も無く全ての選手が平等に扱われます。
 - ⑥あの強豪にも勝てるかも？凡人の私でもここまでやれる競技は他に無いかなと棋力・運・手番選択や相性等、全てのバランスが絶妙です。
 - ⑦勝ち負けだけじゃない何かこれまでに挙げてきた何れかなのか、それら全てなのか、桑名七盤勝負の魅力はこの言葉に集約されるのかなと個人的には考えます。末筆ではございますが、少しでも興味を持たれた方。是非一度体験されてみては如何でしょうか。
- 我々は常に仲間を求めています。

桑名七盤勝負3周年記念「全消しオセロパズル」



3にまつわる全消しパズルです。白から始めて、空きマスなく真っ白にしてください。
(出題 郡山支部長 大清水崇典オセロ六段)

自分にもできる簡単なことを

全世界的に猛威を振るう新型コロナウイルス感染症に伴い、多くの方々が苦しんでいます。桑名囲碁将棋サロン庵も3月から長期休業を余儀なくされており、皆様にご心配をおかけしております。私はといえば日々在宅でいろいろな業務をこなしております。痛感するのは一人では楽しくないという当たり前であり、こんな時にも関わらず周囲の心配をしている方々の存在のありがたさです。そんな桑名七盤勝負オンライン大会は仙台支部長の和田さんの発案で世に出すことができました。まだまだやれることはあると信じ自分のことができることを一つずつこなそうと思います。頑張りましょう。